

平成 26 年度前期クラス代表懇談会、並びにそれに先立って行われたアンケートでは、共通教育の授業や学生生活全般に関して様々な意見が寄せられました。その内容は多岐にわたっていますので、個々別々に回答していくことはやめて、学生の意見を整理しながらそれらに対して教職員の考え方、意見、アドバイスを述べたいと思います。以下に述べる事項は、全学教育推進機構内外のいろいろな部署の教職員の方々の意見を参考にしながら学部共通教育部門長の窪田がまとめたものです。文責は窪田にあります。

窪田高弘（全学教育推進機構・学部共通教育部門長）

以下、○印の付いた黒文字部分が学生の意見や提案、矢印（→）の付いた青文字部分が当方の考え、意見、アドバイス等です。

## I. 共通教育の授業全般について

### 1. 今年度の履修登録の方法や時期に関して。

○履修登録時期について、期間が短い、あるいは早すぎる。

→授業開始までに履修登録を完了し、概ねのクラスを決定する必要がありますが、入学式、学部別履修指導、健康診断等入学当初の行事が同時期に集中しているため、現状の期間・時期で対応していただくしかないというのが実情です。

○履修登録の説明、方法がわかりにくい。

→時間がかかるかもしれませんがアナウンス方法の検討を継続します。『履修の手引』やシラバスの記載も参照してもらえるよう努めます。具体的な提案があれば、教務係窓口へ申し出てください。

○変更・取り消し方法が分からない。

→『履修の手引』や KOAN、各種掲示板等により周知に努めています。分からないことがあれば、是非教務係の窓口へ相談しに来てください。

○基礎セミナーについて：希望票提出時期が早すぎる、登録方法がわかりにくい、開講場所がわかりにくい等々。

→基礎セミナーは、皆さんが希望票に書かれた志望動機等をもとに担当教員

が受講者の選考を行うことで、他科目よりも選考に時間を要するため、提出期限を早くしています。ご理解ご協力をお願いします。登録方法や開講場所等の情報は、『履修の手引』やシラバス、各種掲示板等で周知に努めています(例：豊中キャンパス以外の開講科目は、「(吹田)」などと表示)。分からないことがあれば、是非教務係の窓口で相談してください。

○KOAN への履修登録反映が遅い科目がある。

→情報活用基礎、基礎セミナー、健康・スポーツ科目の一部科目は、従来の抽選と異なる方法で、科目ごとに順次登録処理を行っているため、KOAN への反映が授業開始後になる場合があります。ご心配をおかけしますが、ご理解をお願いします。みなさん自身が KOAN で履修登録する必要はありません。

○別の学部の講義も受けられると聞いたが、やり方を知りたい

→自分の所属学部やその講義の開講学部の教務担当係に問い合わせてください。

○web 上の表示が要件外となっていて驚いた。最終決定を知りたい。

→卒業要件の設定上、一時的に、KOAN 画面で「要件外」と表示されることがあります。自分の所属学部の教務担当係に確認してください。

○必修科目を初めから登録しておいてほしい。

→共通教育の必修科目は、基本的に自動登録されますが、本人の選択の余地がある科目はご自身で登録が必要な場合がありますので、注意してください。学部の専門科目の必修科目については、要望を学部に伝えます。

## 2. 今年度のシラバス（冊子と web の両方）の内容や配布方法に関して。

○冊子が重い、多い、学部ごとに分けてほしい。

→現状は、コストの面や作業時間の点で、冊子版の形態は現状のままで使用していただくざるを得ません。

○表記や記載内容がわかりにくい。(必修選択、いつまでに履修するべきか等)

→時間がかかるかもしれませんが検討します。『履修の手引』と時間割表も併用して参照してください。

3. 共通教育の授業（講義、演習、実験のすべてを含めた教育内容や授業方法等）をこのように改善して欲しいという要望。

○ 教員の方が教室の設備（プロジェクターなど）を利用しやすいように操作方法の紙などを設置しては。

→各教室の機材が異なるため、時間がかかるかもしれませんが順次改善します。

○ Power Point の授業は資料にして配ってほしい、Web にアップしてほしい。

→授業担当教員に直接要望を伝えてください。

○ CLE を活用してほしい

→授業担当教員に直接要望を伝えてください。また、CLE については、機構の教員向けマニュアルの中でも紹介していますが、さらに利用促進の方向で検討します。

## II. 学修・学生生活支援などについて

新生生が大阪大学での学生生活を始める際に、どのような情報や支援があれば、阪大生としての生活に慣れるために役立つか。

○上回生との接点が欲しい

→「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」科目として指定されている共通教育科目は、3・4年次生中心ですが、一部の科目は1・2年次生も履修することが可能です。興味がある分野があれば、是非積極的に挑戦してください。（[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/education\\_refine](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/education_refine)）  
また、全学教育推進機構ガイダンス室では、大学院生の先輩が「ラーニングアドバイザー」として、みなさんの学習面のサポート・進路相談等に当たります。こちらも是非活用してみてください。

○分かりやすい地図・施設案内

→『履修の手引』巻末資料や教務係入口前の掲示の案内図を参照してください。

○欠席の際、教授への連絡が必要かどうかなど対応の仕方をシラバスに載せて

ほしい

→欠席の際、連絡が必要かは、授業時にご確認ください。欠席の事後の対応や授業以外での連絡方法については『履修の手引』や全学教育推進機構ホームページの「よくある質問」を参照してください。

### III 特に外国語教育に関して。

- 第二外国語の選択がいくらなんでも早すぎるという意見について  
→この要望については教員の側でも問題点として検討していますが、入学時のさまざまな行事日程、年間の授業スケジュールなどを大幅に見直す必要があり、なかなか改善できないのが現状です。入学時の案内、ガイダンスなどでさらに情報を提供していく方法などをさらに検討していきたいと思えます。
- 語学の授業については複数回同じ先生に当たることが無いようにしてほしい、学籍番号順にまとめてほしくないという意見、英語は抽選でどの授業になるか分かりづらく不便であるという意見について  
→1年次（I、IIセメスター）の実践英語は、学籍番号順の指定クラスとなっていますが、IセメスターとIIセメスターでは必ずちがう担当教員にするよう編成しています。その他の授業は皆さんの希望をもとに抽選によりクラス決定していますが、これは少しでも皆さんの希望する授業を受講してもらうための措置です。なお、希望者数の多い授業を上位希望順位にした場合、抽選に外れるとどうしても希望順位の低い授業に配当されることがありますが、この点についてはご理解ください。その際、すでに受講したことのある先生に割り当てられた場合は、先着順での登録を利用して別のクラスに登録するようにして下さい。
- シラバスを専攻語の文字で書かれても読めないという外国語学部学生の意見について  
→専攻語の授業については各学部による専門教育科目ですので、外国語学部の方に問い合わせてください。

### IV 体育の授業に関して

- 体育の授業について、KOANでの履修登録を学生がやるのか、先生がやってくれるのか分かりにくかった。

→健康・スポーツ教育科目の登録は、第1回目授業で受講クラスが決定された後、担当教員が行います。そのためKOANでの履修登録は必要ありません。履修の手引きのVI. 履修手続 (p. 51~52) に記載していますが、さらに周知してもらえよう検討します。

○ 基礎セミや健スポもKOANで履修登録できるようにしてほしい。

→健康・スポーツ教育科目では、第1回目授業で学生の皆さんに授業内容を十分に説明し理解してもらった上で、出来るだけ個人の希望に合った受講クラスを決定しています。そのため、KOANで事務的にクラス分けする方法は取っていません。しかしながら、今のやり方より効率的な履修登録の方法がないか、現在検討中です。

○ 体育から即講義はいろいろ大変なので、間に昼休みを挟むか、体育を4限にしてほしい。

→健康・スポーツ教育科目では、更衣等で次の時限の授業に支障が出ないように、時間通り授業を終えるなどの措置を取っています。健康・スポーツ教育科目については、現行の1、2、3限実施のほかに、他の曜限で実施できないか、現在検討中です。

## V CLE (大阪大学授業支援システム) に関する意見

○ 教員にもっと周知してもらいたい、PowerPoint スライドを載せてほしいという意見がありました。

→ これまでも講習会を開催したり、教材掲載をサポートするサービスを行うなど教員に対する広報、支援を行っていますが、更に多くの教員に活用してもらえよう周知に努めます。どの教員がPowerPoint スライドを使っているかはわたしたちでは把握できませんので、ぜひ直接教員に要望を伝えてください。学生からの声は大きな動機付けになります。

○ 講義収録システムに関する意見全般に対して：

→ 共通教育棟や豊中総合学館の大教室には収録システムを設置しました。語学や実験科目の収録を希望する声が多くありましたので、実現できるよう前向きに検討します。また様々な理由で履修できなかった授業を見たい、履修登録の参考にしたいという意見もありましたので収録した授業の公開についても検討を進めたいと思います。

講義収録を行うと授業に出席しなくなるのではないかと危惧する声が多数ありましたが、これは学生のみなさんの意識の問題です。私たちはみなさんにより良い学習環境・学習の機会を提供したいと考えています。どうぞ有効に活用してください。

○ 語学系の授業の場合、CLE を活用すれば、何度でも耳にすることで早く上達できる、という意見がありました。

→その通りだと思います。語学授業でも、すでに、CLE に教材をアップするなどして皆さんがいつでも教材に触れることができるようにしている授業もありますが、今後さらに促進するようにしていきます。

○ 一回でも休んでしまうと次の授業がしんどい、第二外国語や専門科目の授業は、CLE を活用すれば、後々視聴できて復習にもなるし、いいと思う、という意見がありました。

→授業を欠席した場合のメイクアップについては、まずは担当の先生と相談してください。また、語学の授業は授業内での演習がとても大切ですので、極力授業を休まないようにして下さいね。

○ ネイティブスピーカーの先生の授業を是非録画して欲しい。あとで発音が復習できるのでよい。

→気持ちは良く分かりますが、全ての授業を録画することは今のところ不可能であることをご理解下さい。

○ 言語などの音声を必要とする授業や理解の困難な授業を録画して欲しい。

→これについても上に書いたことと同様で、全ての授業を録画することは今のところ不可能であることをご理解下さい。

## VI 『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』について

→おおむね好評価をもらい、嬉しく思っています。ただ、今回は配布方法が不統一となり、学生のみなさんを混乱させてしまった点は反省しています。次回は統一した方法で一斉に配布する計画を立てています。また、内容に関しても、具体例やより分野に特化した詳しい説明など、寄せられた意見は次回の冊子作成時に参考にし、よりよい内容になるよう改善する予定です。レポートの見本を掲載してほしいとの意見がありましたが、この冊子に掲載することは不適當

だと考えます。一つ目の理由として、各科目で高評価となるものが異なり、一般的な優秀例を提示することはできないことがあります。また二つ目の理由として、大学での学びは、既存の正解例・優秀例を追い求めるものでなく、みなさん自身が新しい価値を提案していくものだということが挙げられます。課題を出した教員が想定していなかった、驚くような提出物を出すチャレンジをしてください。

## VII 学術的作法（アカデミック・スキル）について

→ 授業として学修する機会やフィードバックを受ける機会を拡充してほしいとの要望が目につきました。こうした機会を増やすため、ライティング指導者の育成を目指した講義を2014年2学期から開講する予定です。また、教員向けのライティング指導用のマニュアルも配布し、レポート課題に対するフィードバックをより簡便に行うための提案も行っています。少しずつではありますが、阪大生のためのライティング教育が充実するよう改善を進めています。

## VIII 図書館の学習環境について

- 図書館が暑い、何とかならないかという意見が多くありました。
- 経費の問題があり難しいのですが、できる限り快適な学習環境を維持できるように努めます。

## IX 生協関連

- 「生協のパソコンが届くより先に登録期間が来て、自宅でやれなかった。生協と協力してほしい」という意見がありました。
- 生協で新生向けに販売しているパソコンは、3月9日から申込を受け付けており、全て宅配にてお届けしておりました。後期試験で合格された方の申込も承るため、最終申込締切日を3月28日とさせていただきました。3月28日に申込された場合、最短で宅配便にてお受け取りできる日を、4月4日といたしました。4月4日ですと、履修登録のタイミングが、ギリギリになっております。また、今年は消費税の駆け込み需要が多く、物流が大変混乱した事もあって履修登録に間に合わなかったことも考えられます。履修登録の日程などは事前に把握しており、できるだけ登録日に間に合うよう配送日程を組んでおりますが、後期試験に合格された方も配慮して、このような配送スケジュールを組んでおります。

○ 生協の PC スペックは高すぎるのではないかと、という意見について：

→ ご指摘通り生協が推奨しております新入生向けパソコンはハイスペックの仕様となっております。文系理系どの学生にも満足いただける仕様で、また 4 年間使用いただくために作られたパソコンでもあります。簡単なレポート作成や、インターネット閲覧などをメインで使われるようでしたら、オーバースペックかもしれません。生協が推奨しております新入生向けパソコンは高額な商品であり、全ての方に適しているという訳ではございませんのでご自身の使用目的等をよくご検討いただいてからの購入をお薦めしております。

○ 食堂を長く開けて欲しいという意見があります。

→ 現在生協の食堂は、豊中地区では図書館下食堂が最も長い時間営業しており、午前 8 時から午後 20 時まで営業しております。この時間帯以外で営業した場合、利用者数と運営費用とのバランスが保てず、経費支出の方が大きくなってしまい、現状でも経営が厳しいなかますます経営を圧迫する恐れがあります。現状以上の営業時間延長は難しいのが実情です。

○ 食堂の込み具合に対する不満が多くあります。

→ 生協が運営している食堂は、多くの方に食べていただけるように席効率向上のために、「席取の禁止」「食事終了後の退席」などをお願いしています。また、レジでのキャッシュレス普及よりレジ精算待ち時間の短縮による混雑は改善されています。

○ 食堂の数と位置を教えてほしいという意見がありました。

→ 詳しい店舗数とキャンパス内の位置については [ホームページ](#)でご覧いただけます。

○ どの施設がどのように活用できるか網羅したものが欲しい。

→ 大阪大学生協のホームページに施設ごとの営業時間、取扱商品などを記載しております

○ 生協で買えるものは何があるのか、キャンパス内の店の商品ラインナップについて知りたい、という意見がありました。

→ ある程度の取扱商品、特に「サービス分野」についてはホームページにてはお知らせしております。品揃えしている個々の商品までの情報については提供しておりません。ホームページにはお店の写真も付けておりますので、雰囲気は感じていただければと思います。

○ 生協の申し込み方が少しわかりにくかったという意見について：

→ 新入生の方への「生協加入の案内物」につきましては、引き続きコンパクトにまとめる方向で改善していく事しております。ご意見ありがとうございました。